

ヒメクロモン 200mg カプセル

溶出試験 本品 1 個をとり，試験液にラウリル硫酸ナトリウム 40g に水を加えて 1000mL とした液 900mL を用い，溶出試験法第 2 法（ただし，シンカーを用いる）により，毎分 100 回転で試験を行う．溶出試験開始 30 分後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 3mL を正確に量り，日本薬局方崩壊試験の第 1 液を加えて正確に 100mL とし，試料溶液とする．別にヒメクロモン標準品を 105℃ で 4 時間乾燥し，その約 0.022g を精密に量り，メタノールに溶かし，正確に 100mL とする．この液 3mL を正確に量り，ラウリル硫酸ナトリウム 40g に水を加えて 1000mL とした液 3mL を正確に加え，日本薬局方崩壊試験の第 1 液を加えて正確に 100mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，ラウリル硫酸ナトリウム 40g に水を加えて 1000mL とした液 3mL を正確に量り，日本薬局方崩壊試験の第 1 液を加えて正確に 100mL とした液を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 321nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品の 30 分間の溶出率が 70%以上のときは適合とする．

ヒメクロモン（ $C_{10}H_8O_3$ ）の表示量に対する溶出率（％）

$$= W_s \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 900$$

W_s ：ヒメクロモン標準品の量（mg）

C ：1 カプセル中のヒメクロモン（ $C_{10}H_8O_3$ ）の表示量（mg）

ヒメクロモン標準品 ヒメクロモン（日局）．ただし，乾燥したものを定量するとき，ヒメクロモン（ $C_{10}H_8O_3$ ）99.0%以上を含むもの．